

環境基本計画見直しにかかるアンケート調査結果 平成 23 年 2 月

● 調査の目的

本調査は、平成 13 年度に策定された「飯山市環境基本計画」を見直すにあたり、環境に対する市民の意識と意識の変遷を把握し、今後 10 年間の飯山市の環境の基本方針を定める新たな「飯山市環境基本計画」を策定する上で参考にすることを目的として実施した。

● 調査方法

調査対象者	市内在住の 20 歳以上の市民 1,000 人
抽出方法	市内 10 地区の人口比率、男女、年齢等を考慮し、平成 22 年 12 月末現在の住民基本台帳より無作為抽出
調査の方法	郵送による配布・回収 発送：平成 23 年 1 月 24 日 締切：平成 23 年 2 月 15 日

● 回収結果

回収数	435 人
回収率	43.5%

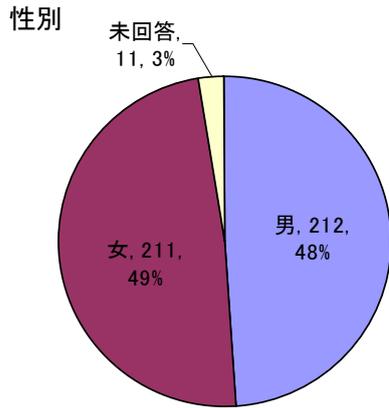
● その他

調査項目は前回調査（平成 12 年 1 月）の項目を基本とし、時代にそぐわない項目は削除し新たな項目を追加した。

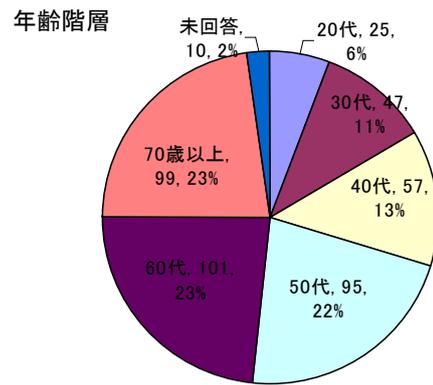
前回調査と比較することが適当であるものは比較した。

● 回答者の属性

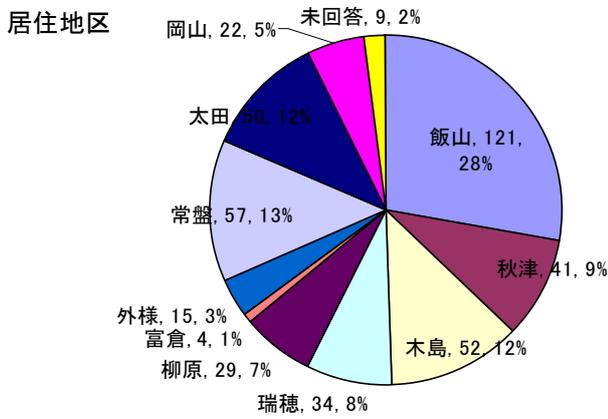
問 1



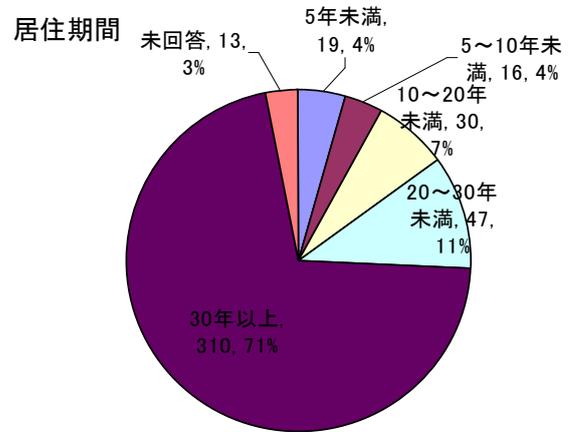
問 2



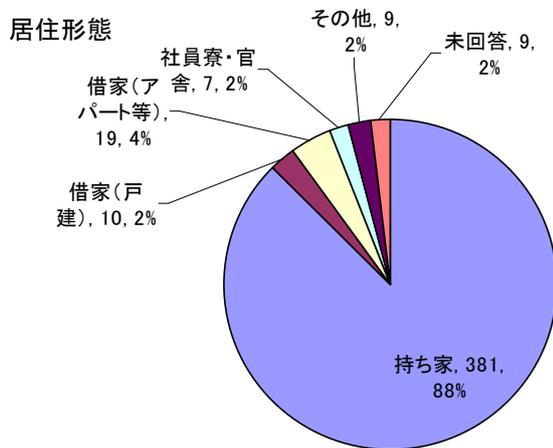
問 3



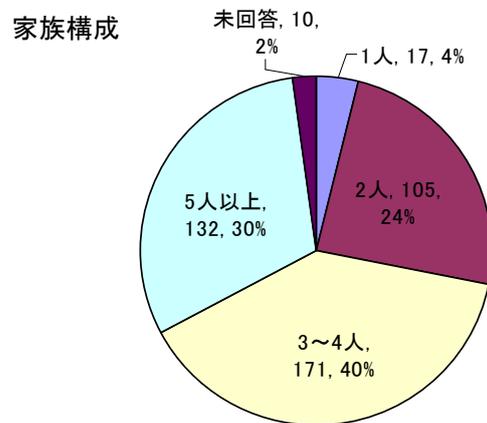
問 4



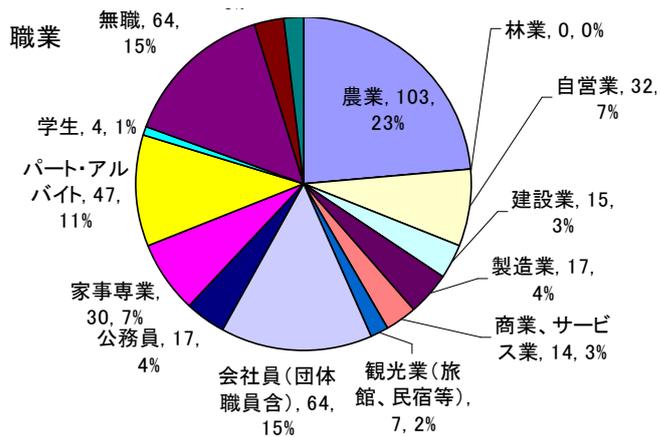
問 5



問 6



問 7



● 飯山市の環境の現状と将来について
 問 8 飯山市の環境の現状と今後について、どのようにお感じになっていきますか。

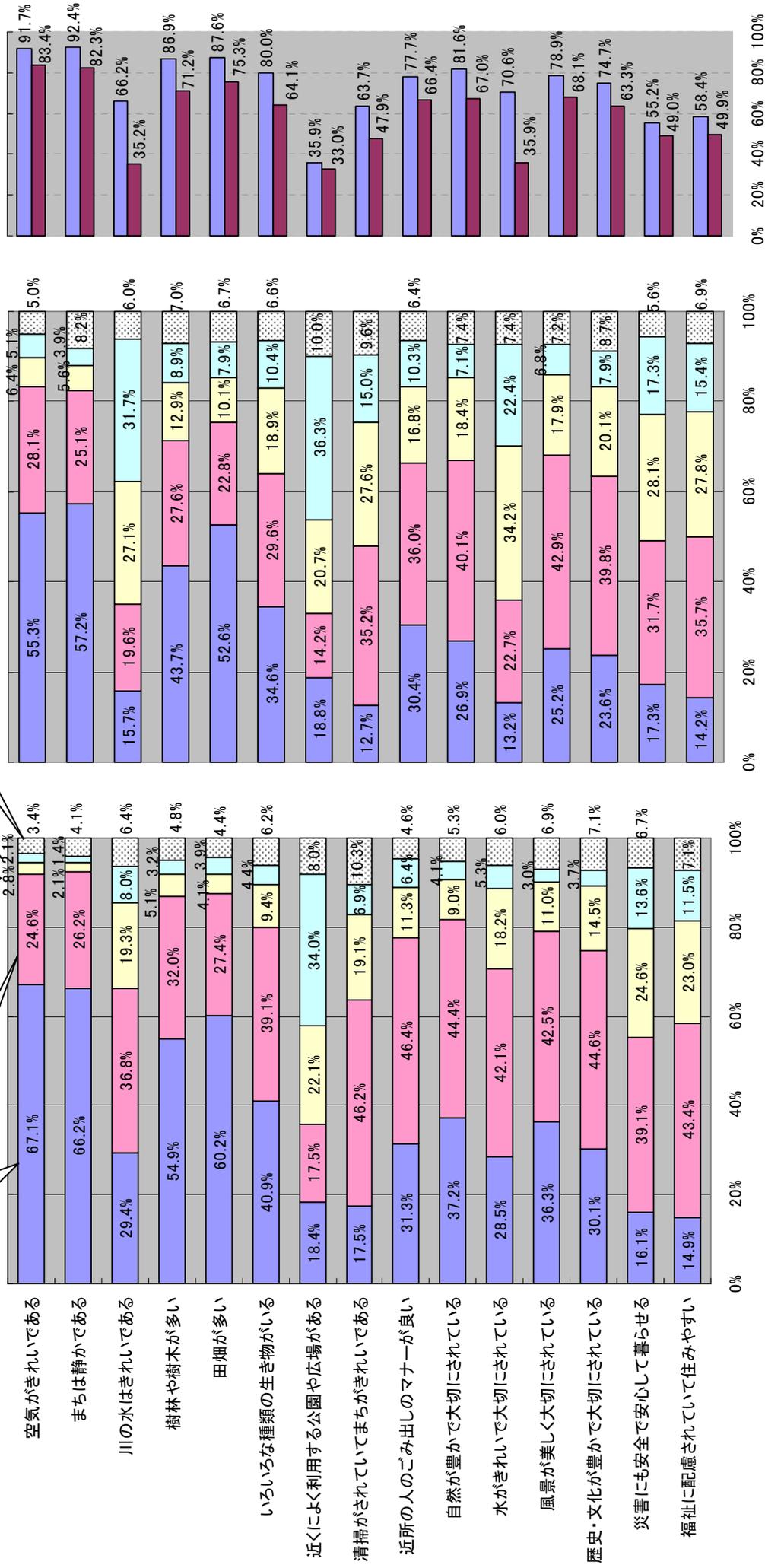
平成 23 年 2 月

平成 12 年 1 月

「そう思う」「どちらかか
 というと思う」の割合
 の合計を、平成 23 年 2
 月の調査と平成 12 年 1
 月の調査で比較

現状について

そう思う
 どちらかとい
 えばそう思う
 どちらかといえ
 ばそう思わない
 そう思わない
 未回答



■ 23年2月 ■ 12年1月

平成 23 年 2 月

平成 12 年 1 月

「今のままでよい」「どちらかという」と今のままでよい」の割合の合計を、平成 23 年 2 月の調査と平成 12 年 1 月の調査で比較

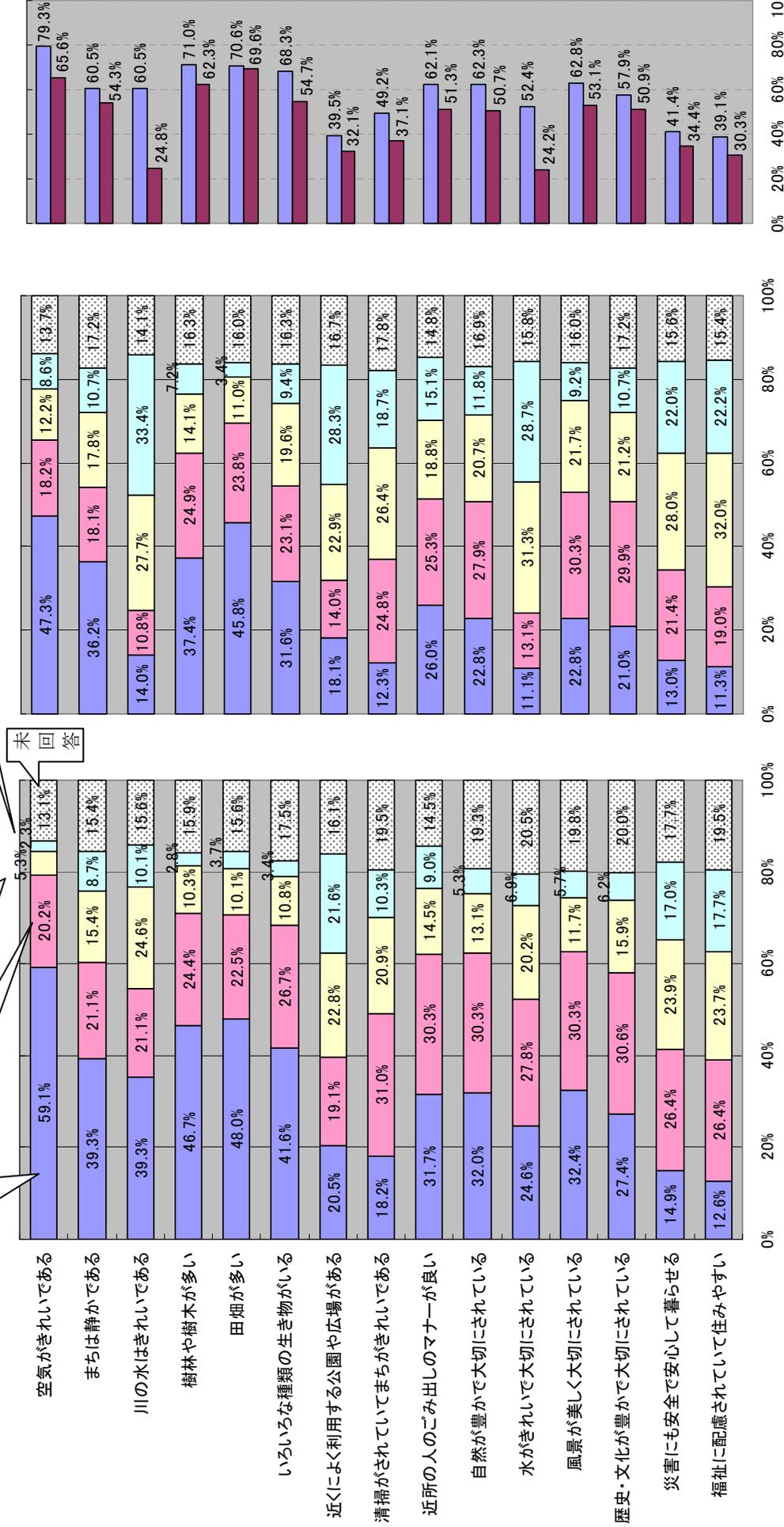
今後について

今のままでよい

どちらかという
今のままでよい

どちらかという
改善すべきである

もっと改善すべきである



■ 23年2月 ■ 12年1月

● 環境問題と周辺環境について

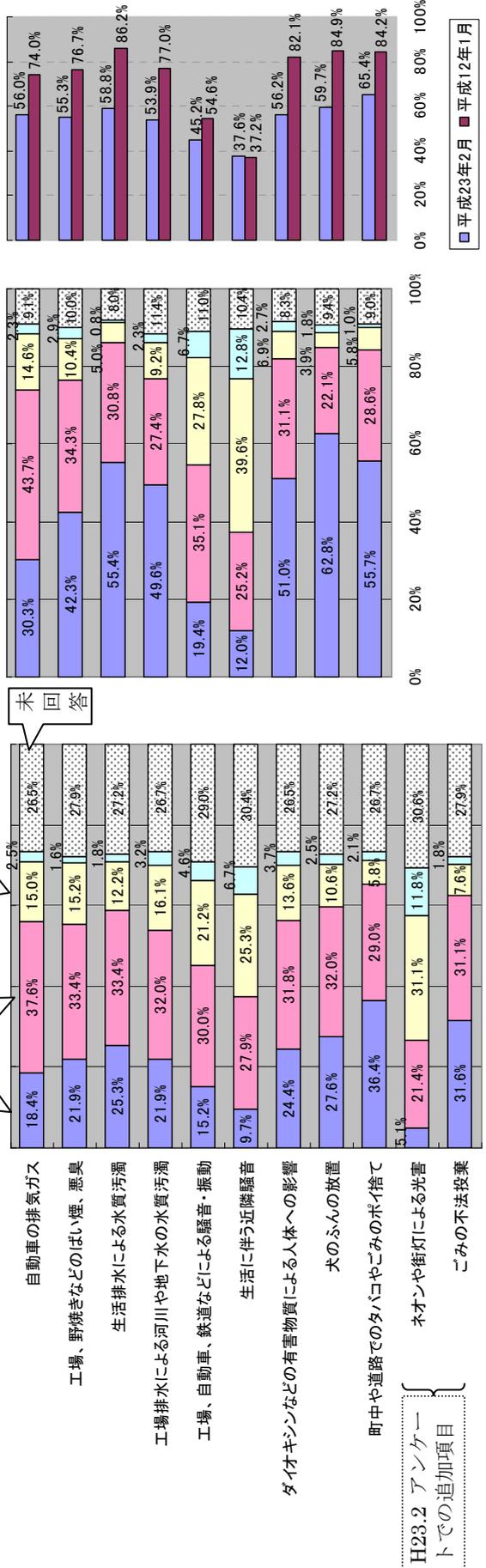
問9 あなたは次の問題について、関心があったり、身近に感じたりしますか。

平成23年2月

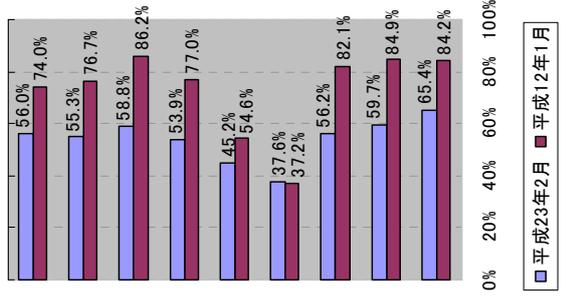
平成12年1月

生活環境について

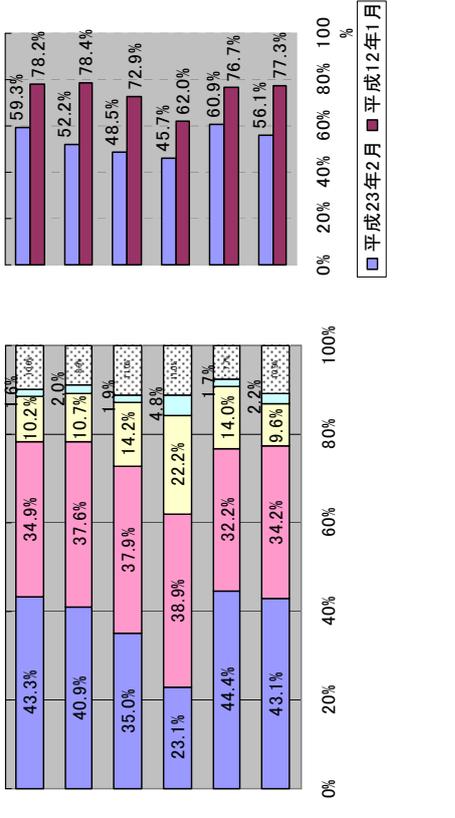
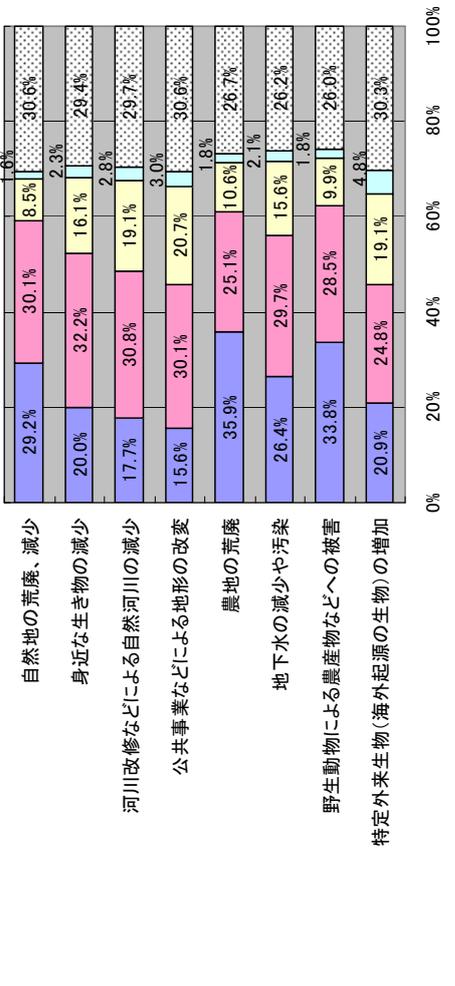
とても関心がある
少し関心がある
あまり関心がない
全く関心がない



「とても関心がある」「少し関心がある」の割合の合計を、平成23年2月の調査と平成12年1月の調査で比較



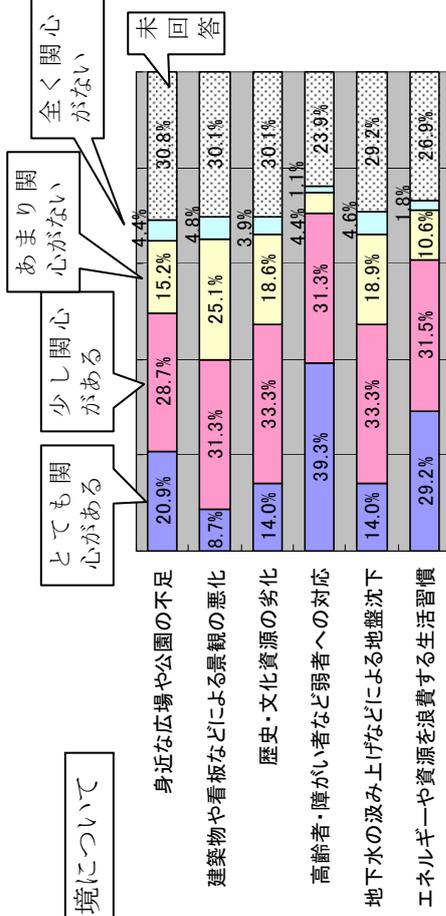
自然環境について



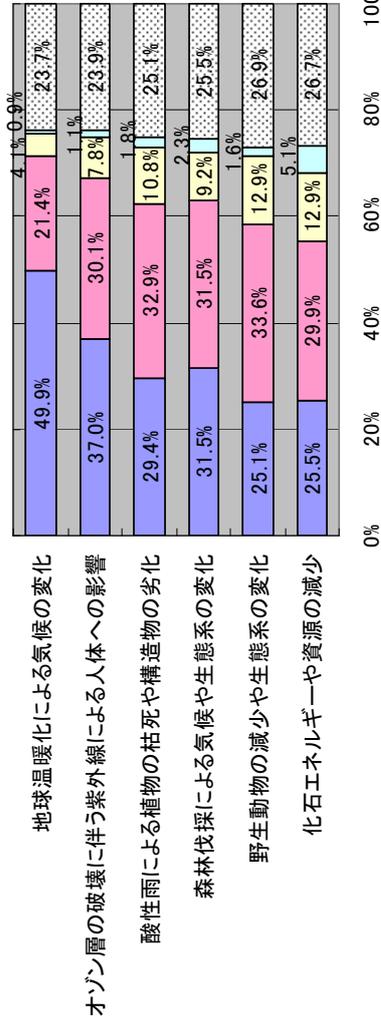
平成 23 年 2 月

平成 12 年 1 月

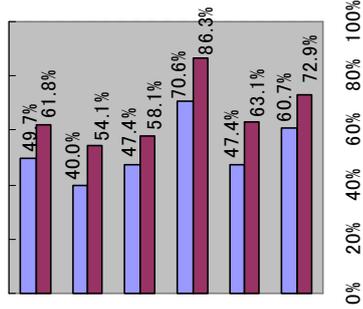
都市環境について



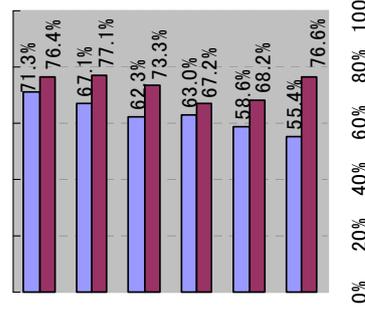
地球環境について



「とても関心がある」「少し関心がある」の割合の合計を、平成 23 年 2 月の調査と平成 12 年 1 月の調査で比較



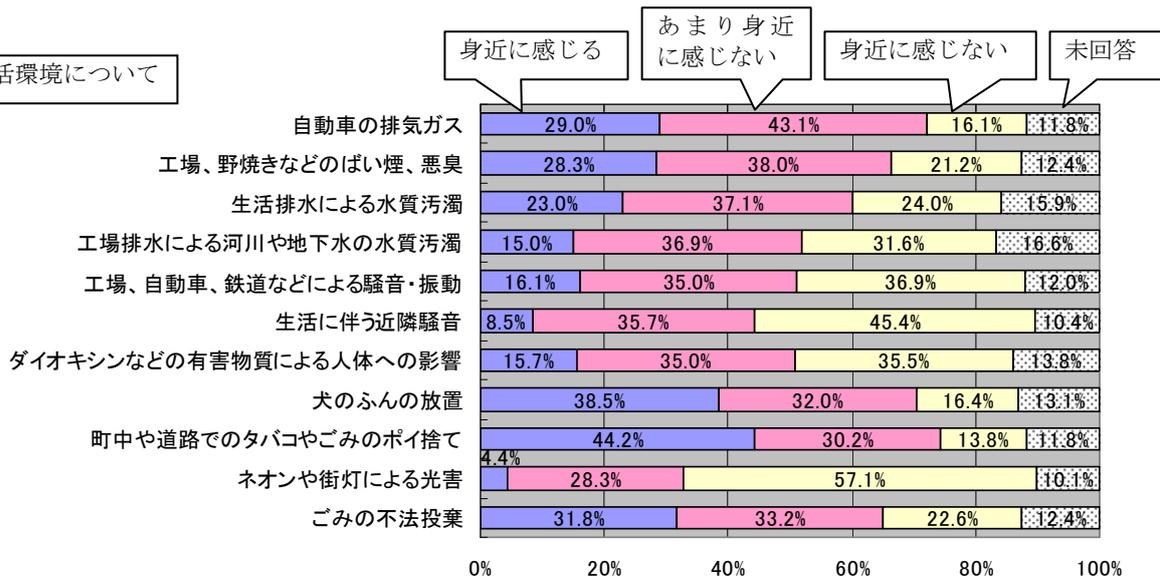
■ 平成23年2月 ■ 平成12年1月



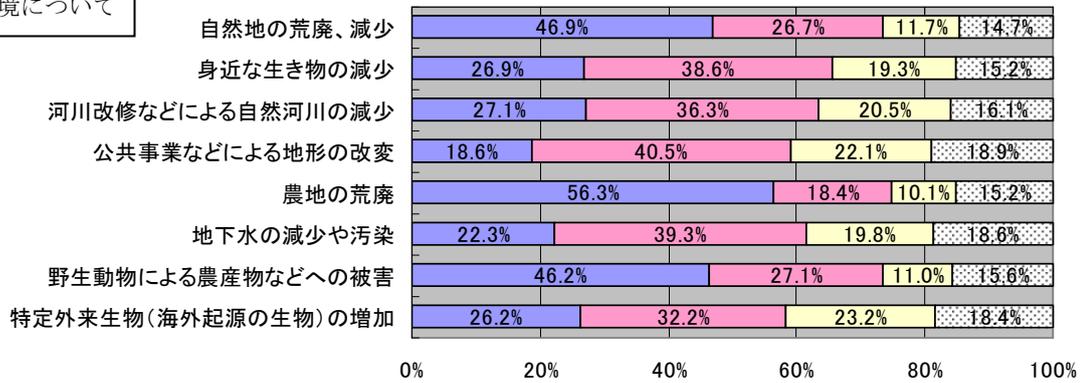
■ 平成23年2月 ■ 平成12年1月

平成 23 年 2 月

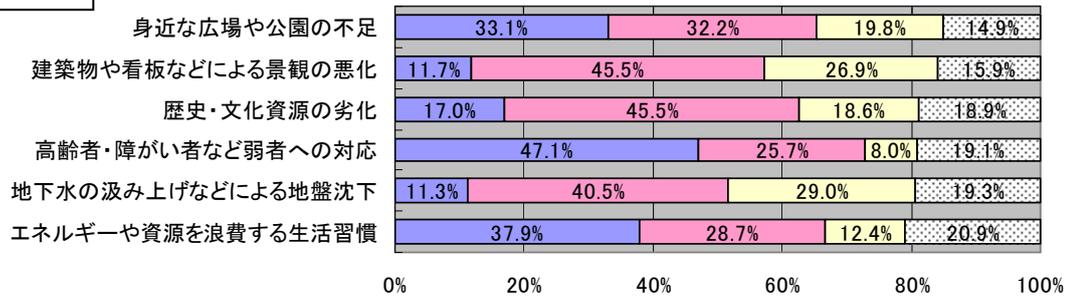
生活環境について



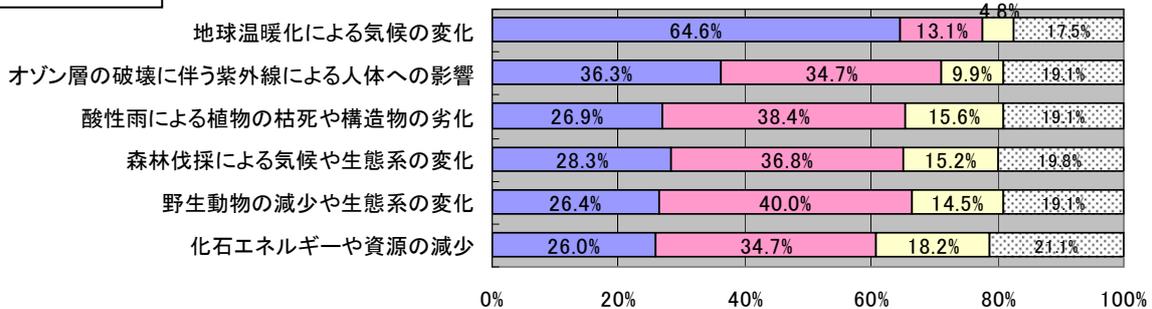
自然環境について



都市環境について



地球環境について

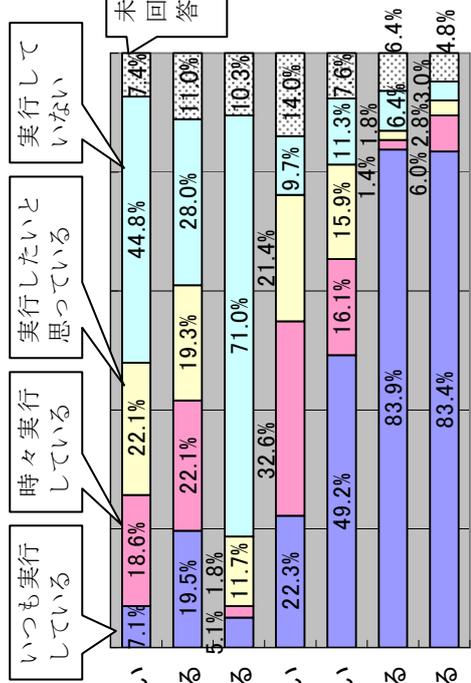


④ あなたが実行していることについて
 問10 あなた（あなたの家族）は、日常生活の中で環境のためにどのようなことをしていますか。

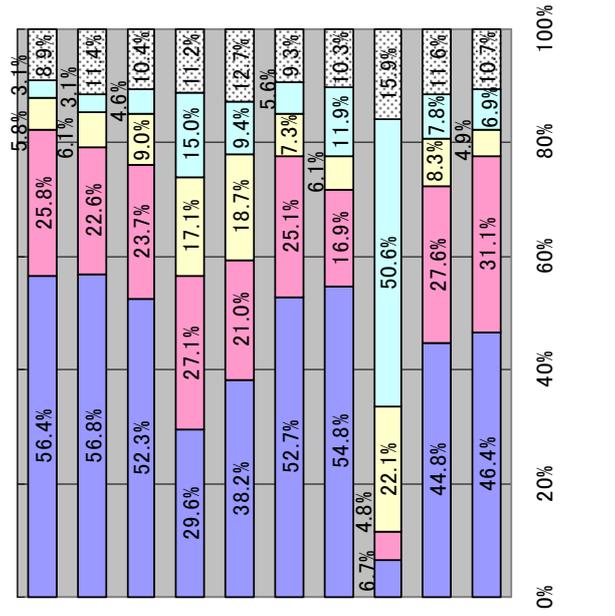
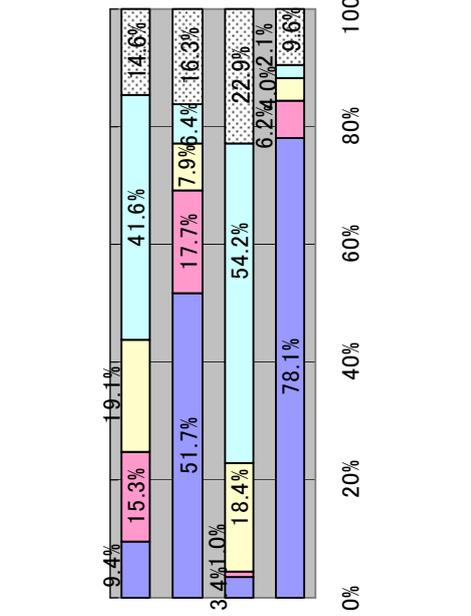
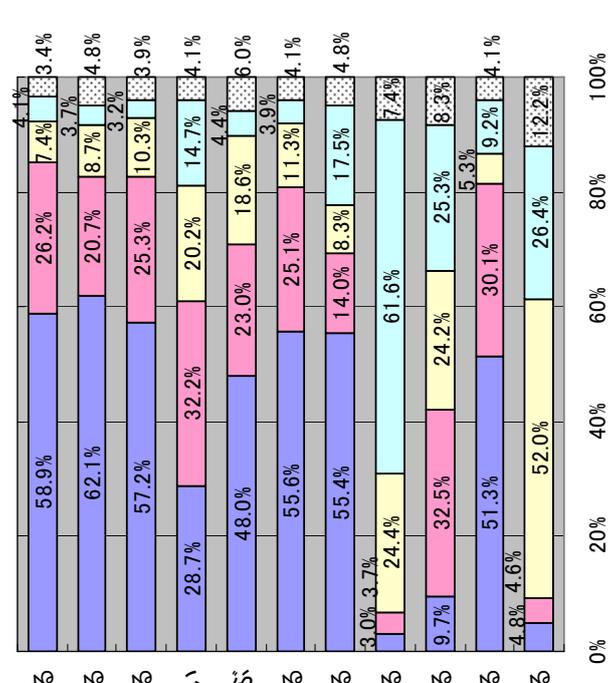
平成23年2月

平成12年1月

大気汚染や水質汚濁について



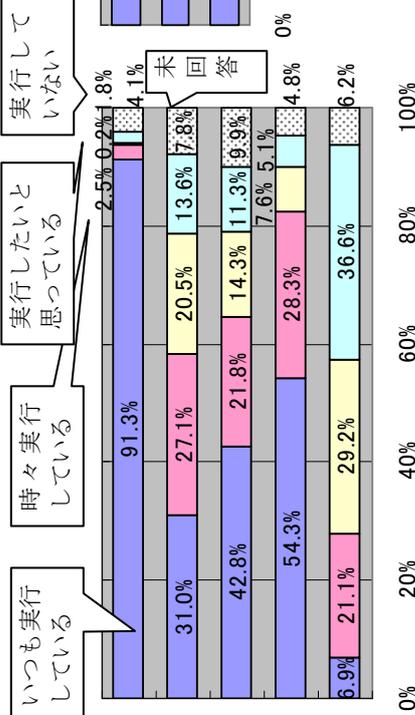
省エネルギーや省資源の促進について



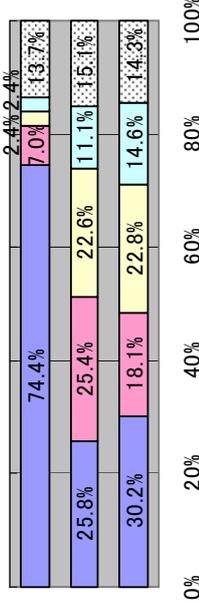
平成23年2月

まちの美化や環境汚染について

ごみや空き缶のポイ捨てをしない
 低農薬の農産物を購入している
 環境ホルモンの疑いのある食品、食器を避けている
 国産の食品を購入するようにしている
 まちの美化のためごみ拾い、清掃などのボランティアをしている

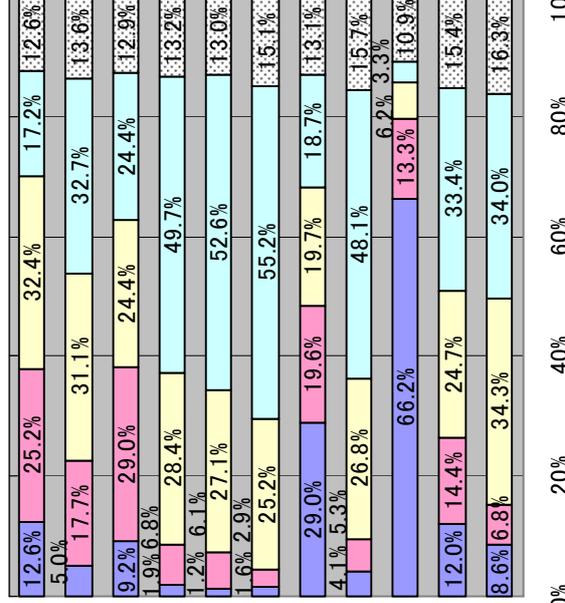
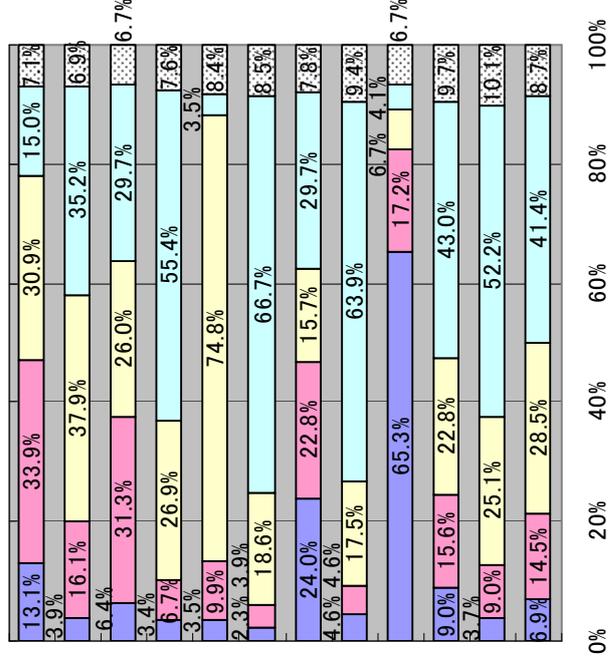


平成12年1月



環境学習や環境活動について

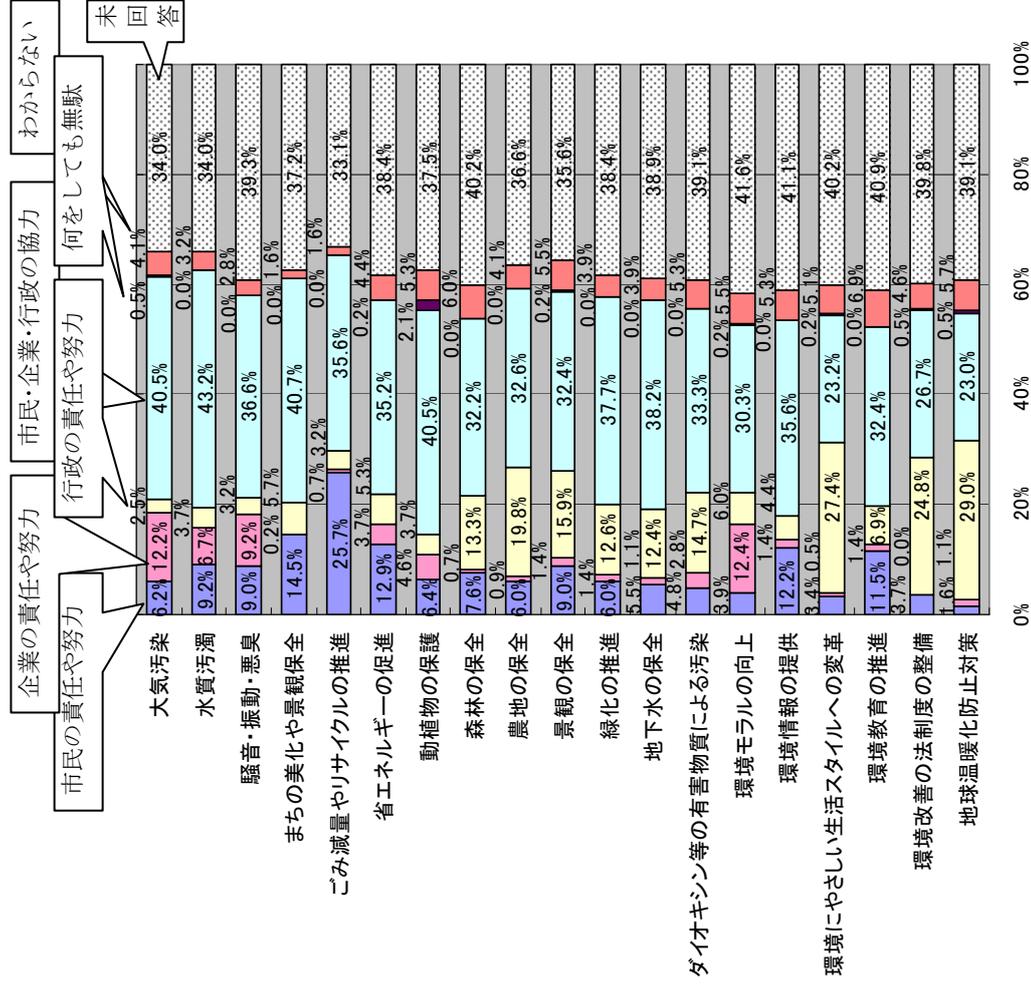
本を読むなどして、自分自身の環境に関する知識を増やす
 シンポジウムや講演会などで環境に関する話を聞く
 環境問題について家族で話し合いをしている
 地域の環境や地球環境についてグループで勉強したり、話し合ったりしている
 自然観察会、見学会などに参加している
 環境調査へ参加している
 地域の清掃活動に参加している
 環境ボランティア活動などを行う市民団体に参加している
 地域や学校の資源物回収に協力している
 環境保全のために寄付などを行っている
 環境のために必要なことを行政や企業に要望している
 トレッキング、里山散策など、自然環境を積極的に享受するようになっている



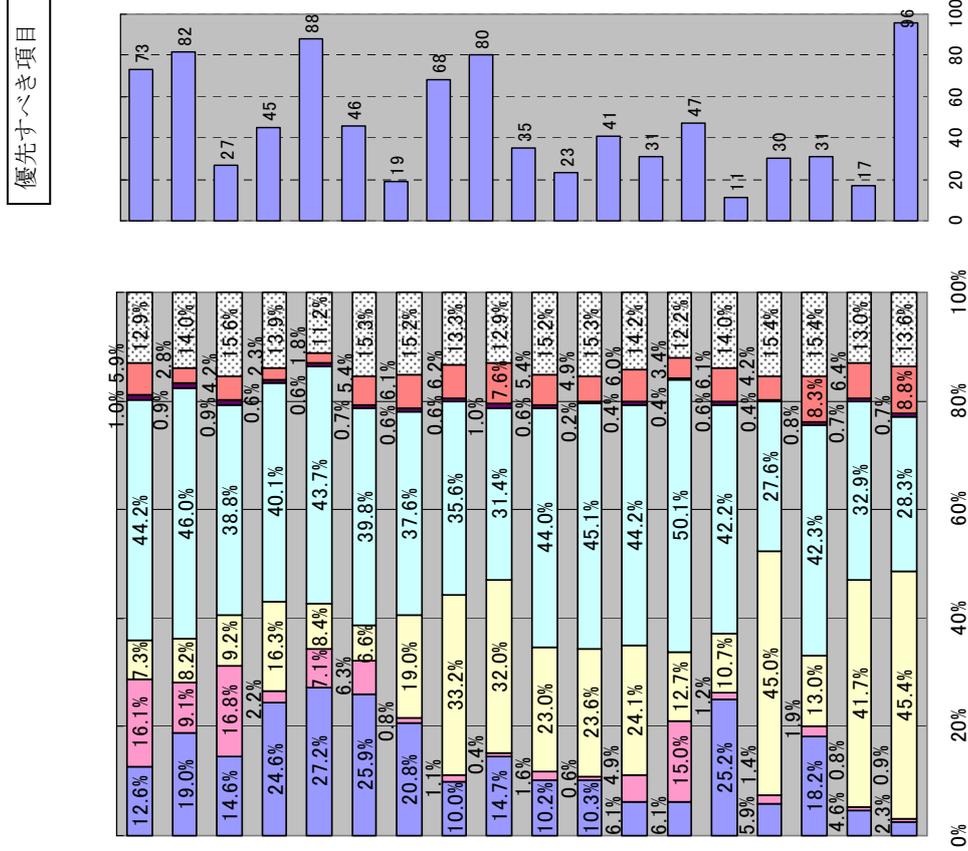
⑤ 環境問題の改善について

問 11 あなたは環境に関する問題を解決するために、何を優先すべきと考えますか。また誰の責任や努力が最も大切だと思いますか。

平成 23 年 2 月

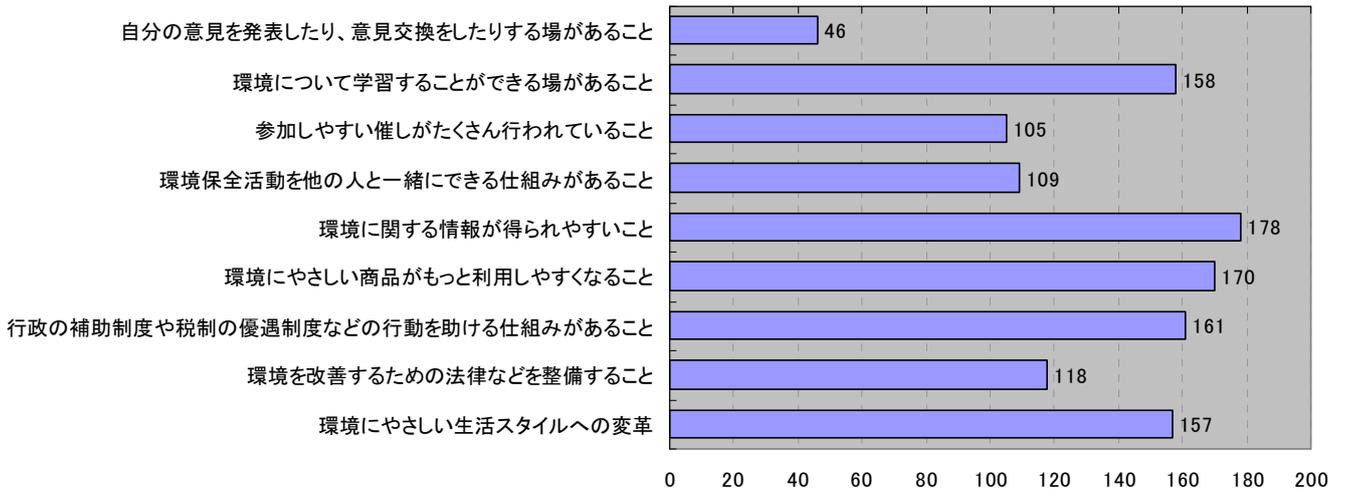


平成 12 年 1 月



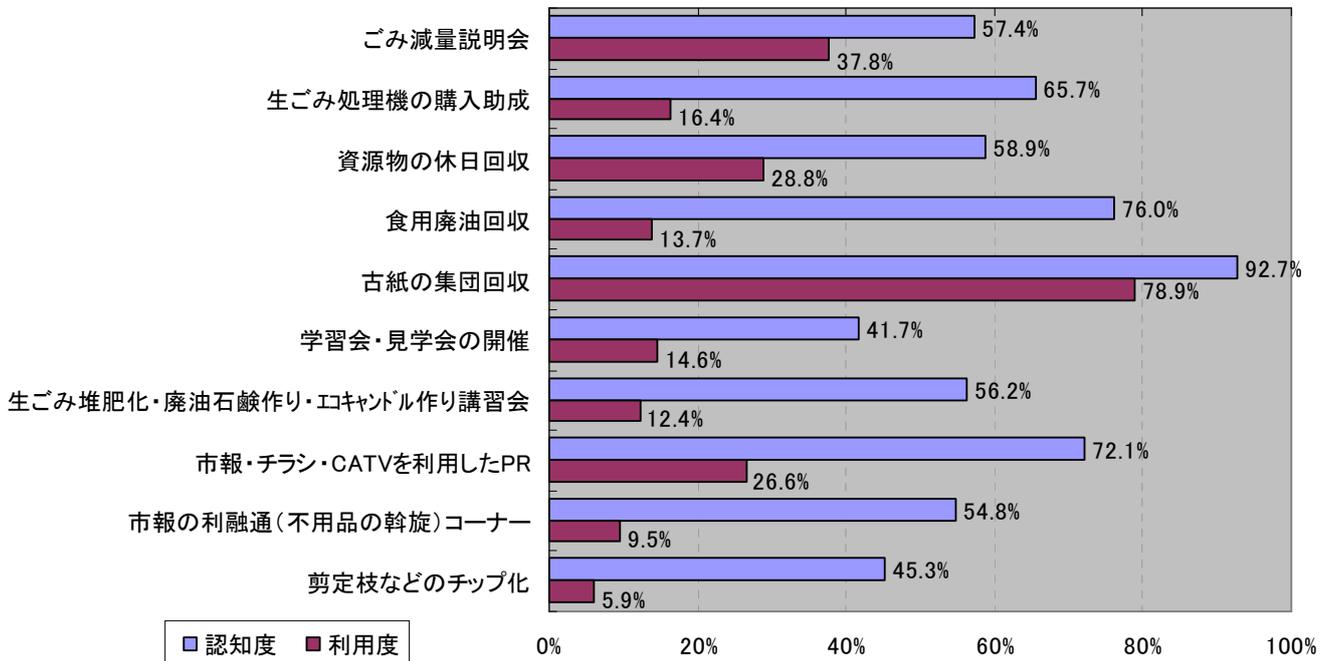
問 12 あなたは、環境を良くするためには、次のうち何が重要だと思いますか。

平成 23 年 2 月



⑥ ごみの減量について

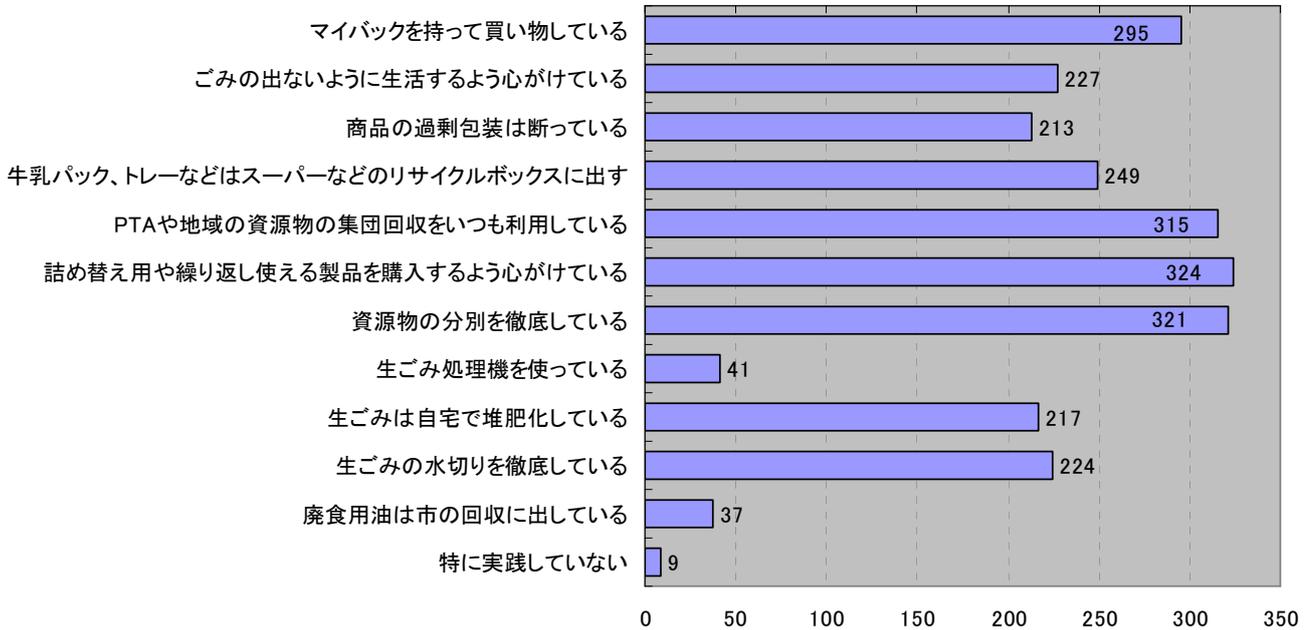
問 13 市では、平成 23 年度までにもえるごみの 20%減量（平成 18 年度対比）を達成するための取り組みを行っています。その取り組みの、あなたの認知度と利活用についてお答えください。



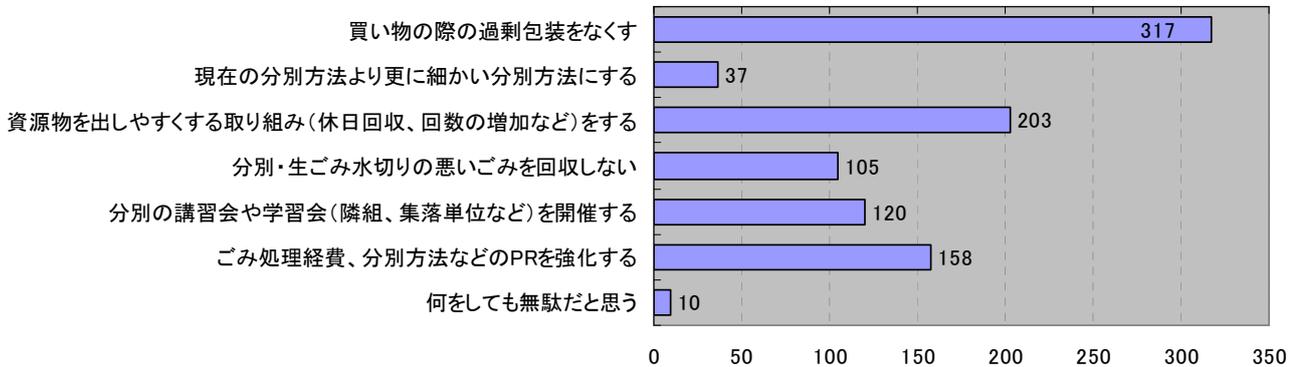
問 14 あなたは、家庭から出されるごみの減量について、どの様にお考えですか。

ごみ減量の実践について

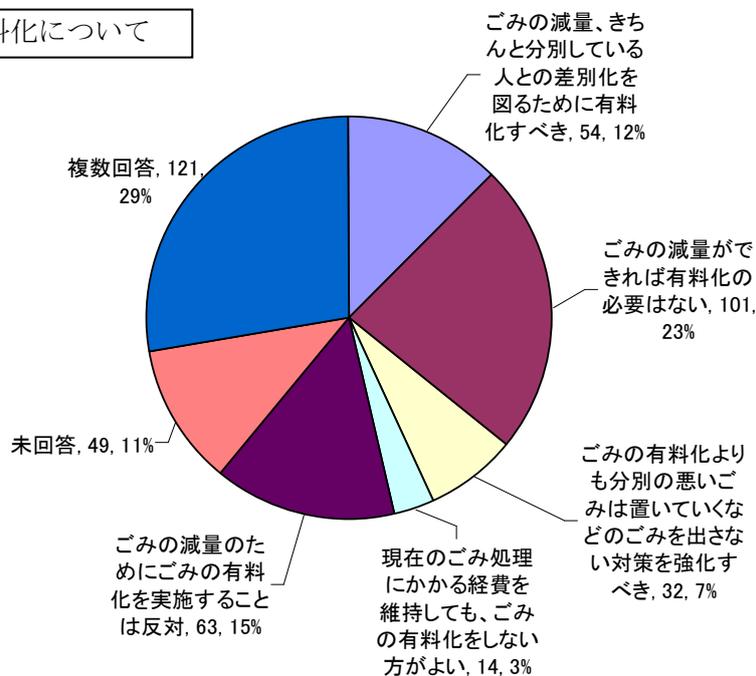
平成 23 年 2 月



ごみ減量 20%を達成するために有効と思う方策

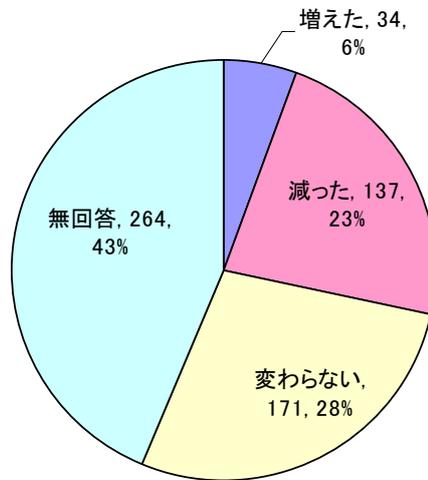


もえるごみの有料化について



問 15 あなたの家庭では、この2～3年間でごみの量はどの様になりましたか。何割程度の増減があったかお答えください。

平成 23 年 2 月



	計	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割
増えた	34	8	19	3	1	2	0	0	1
減った	137	46	59	22	2	7	0	1	0